

未来を生き抜く力と健やかな「からだ」の育成

チーム武庫

 6月号

三田市立武庫小学校長 松田文貴

《力を合わせて、心を合わせて》

27日(土)に運動会を実施しました。昨年度までは2学年ごとの入れ替え制でしたが、今年は、全校生が最初から最後まで運動場で演技と応援をしました。ゴールデンウィーク明けからの短い練習期間でしたが、武庫っ子は持てる力を十分に発揮し、素晴らしい姿を見せてくれました。保護者の皆様は昨年同様入れ替え制で、ご自身のお子様以外の学年を見ていただくことはできませんでした。しかしながら温かい拍手とまなざしで、しっかり応援してくださいました。

1年生の走競技はミニハードルを跳んだり、コーンを回ったり、いろいろな動きが含まれていました。2年生はリングバトンの折り返しリレーでした。どちらの学年も一生懸命走りきることができました。ダンスはリズムに乗って笑顔で楽しく踊る姿が印象的でした。

3年生は初めてのトラックを使ったリレーです。走る距離も長くなりましたが、しっかり走り切りました。4年生は走りながらバトンの受け渡しをし、上級生らしさを見せてくれました。表現のエイサーはリズムに合わせて太鼓をたたき、勇壮に演じることができました。掛け声も元気よく、表現に熱中しているように見えました。

5・6年生はリレーのバトンパスも上手でした。特に6年生はスピードを落とすことなくバトンが渡るチームもあり、さすがだなと思わせてくれました。表現種目は機器の不具合により、途中で音楽が止まるハプニングがありましたが、気持ちを切らさずに落ち着いて演じることができました。その姿を見て、これが学んできた成果なんだなと感心しておられた保護者の方も多かったです。

今年は綱引きも行いました。コロナ前までは1、2年生は玉入れをしていましたので、実は6年生も入学後初めての綱引きでした。しかもあの太い綱を持ったのは初めての経験でした。どの学年も力いっぱい綱を引っ張る姿を見て、とてもうれしくなりました。

このような運動会成功の陰には、洗濯やお茶の用意、時には練習を見て励ましてくださったご家庭の支援があります。当日の観覧についても非常にマナーよく、児童の入退場や演技に自然に拍手が起こる温かい雰囲気を作ってくださいました。PTA役員を中心とした保護者のみなさまも、準備や片づけなど、円滑な運営に力をお貸しくださいました。後片付けは多くの方の力をお借りし、短時間でテントと椅子が片付けられました。ありがとうございました。

子どもたちと教員だけでなく、ご家庭も一緒になって作り上げた運動会でした。学校運営協議会の委員の方が本部席で「いい運動会をありがとうございました。」とお話くださったのがとても嬉しかったです。これからも「通わせてよかった」「応援してよかった」学校であるために取り組みを進めていきます。保護者の皆様、地域の皆様にあたたためて感謝申し上げます。ありがとうございました。



【得点が復活しました】



【今年は応援席も！】



【初めての綱引き】



【応援団も大活躍！】



☆保護者の皆様から寄せられた感想の一部を抜粋して紹介します。

- ・ダンスを一生懸命に踊っている姿が可愛くもあり、感動しました。踊っているときに上級生が手拍子をししたりして、応援してくれている姿も見ていて感動しました。
- ・前日にはお姉ちゃんと公園に走りに行ったり、ダンスの練習をしたり、運動会に向けて頑張っていました。当日、本人の楽しんでいる姿を見て私達も嬉しかったです。素敵な運動会でした。ありがとうございました。
- ・5・6年生の表現種目では、音楽が止まってしまってもじっと動かず、話し声もせず、なんと素晴らしい行動だろうと心から感動しました。みんないい子に育ててもらったなあと改めて思いました。また、準備に関わられたPTAの方々にお礼が伝わればと思います。
- ・短期間でここまでの完成度に驚きました。心配性のわが子は曲が覚えられるか不安になったりもしましたが、最終的にはエイサーが一番見てほしいというようになりました。頑張った成果が見られて満足です。
- ・わが子は笑顔も多く、リラックスしながら参加していました。子どもたちだけでも全校生が集う形で行ってただけで、ありがたく、子どもたちの経験に厚みが増し、本当によかったなと思えました。わが子は運動会ロスです・・・
- ・新学期早々の時間の限られた中、子どもたちの精一杯楽しむ姿を見られて、とても嬉しい一日となりました。家でも練習の様子を話してくれ、子どもも楽しみにしていたようです。練習をきっかけにいろいろな成長が見られて嬉しかったです。

《トライやるウィーク》

30日（火）から、狭間中学校2年生の生徒5名がトライやるウィークの活動で武庫小学校に来てくれています。読み聞かせや中学校の話など、いろいろな形で関わってくれています。数年後の自分たちの姿をだぶらせている子もいるかもしれませんね。



《あいさつは心のかけはし》

武庫小学校の生活指導の三本柱として「時刻を守る」「あいさつをする」「話を聞く」があります。これらは何年も前から大きな柱として大切にされています。言い換えると、これらが武庫っ子の積年の課題であるともいえます。

毎朝、校門に立っていると、元気にあいさつしてくれる子、あいさつをすれば返してくれる子、素通りしていく子・・・さまざまです。登校班に声をかけても、自分ではないと思うのか、あまり返ってきません。（泣）地域の方に自分からあいさつをする子はほとんどいません。あいさつはコミュニケーションの基本でもあります。ご家庭でもお話をいただいているとは思いますが、今一度、あいさつについて大人も子どもも考える機会をとっていただけると嬉しいです。元気なあいさつで一日が始まりますように。まずは大人から。



【見守り隊の方も待っています】

